

活動名	問題を抱える子ども支援の促進の 情報発信とネットワーク構築	団体名称	特定非営利法人ロージーベル
		活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
		活動の目的	③非行や犯罪から子どもの立ち直りを支援する活動

■申請書の活動概要<150~200字>	■申請書のスケジュール	■各スケジュールごとの活動内容
虐待等の家庭環境が非行少年を生み出す背景や子どもへ及ぼす影響等について、地域社会に情報を発信し、少年の更生や時に親から引き離さなければ救えない現状等について知っていただき、当法人をはじめ子ども支援団体の活動に関して理解を促す。また、子ども支援事業を行っている関係団体とのネットワークを強固なものとし、ケースによっては協力して支援を行う体制づくりや情報交換を行い、各団体の抱える問題点を補いつつ、支援基盤のより一層の強化をめざす。今年度は県外にも情報発信を積極的に行い、県外との連携を図ると共に、県外でも独自の協議会の発足に向け、1人でも多くの子どもたちの救済が出来るよう、当事業の有益さや成果などを伝え、県外においての同様の活動を促進且つ県を越えた連携を図り、より幅の広い問題に対応できるよう尽力したい。	2017.11-(随時) 2018.2-3 2018.4-5 2018.5中旬 2018.4-8 2018.4-5 2018.5-8 2018.8下旬 2017.9-(随時) 2017.10-2018.7(年3回) 2017.9-(随時) 2017.12-2018.8(年2回)	【講演会】理事会、事務局MTにて講演内容、講師選定・依頼、開催時期・会場の検討、広報・運営方法等 【講演会】チラシ作成 【講演会】広報活動と聴講申込受付開始 【講演会】講演会の実施 【ホウ講座】理事会、事務局MTにて講演内容、講師選定・依頼、開催時期・会場の検討、広報・運営方法等 【ホウ講座】チラシ作成 【ホウ講座】広報活動と聴講申込受付開始 【ホウ講座】ボランティア養成講座の実施 【連協】理事会、事務局MTにて開催時期・会場・協議内容の検討、関係団体との連絡調整等 【連協】連絡協議会の実施 【連協】子ども支援事業を行なっている施設等の視察 【ニュースレター】理事会、事務局MTにて発行時期・内容の検討し、発行、発送

■活動目標 虐待等で非行に至る子どもの現状を地域社会に発信し子ども支援活動の理解を促す。また、関係団体とのネットワークを強固なものとし支援基盤の強化をめざし、さらに県外において同様の活動を促進し県を越えて連携を図り、虐待等で非行に至る子どもの立ち直りや更生に寄与し、広く対応できるように尽力したい。

■長期成果 講演会やボランティア養成講座の受講者の中から支援者やボランティア登録者を獲得し、連絡協議会の参加団体が互いに詳細な活動を知り、協力体制を確立しつつ情報発信していくことにより支援団体同士や行政等との連携した支援体制が強固なものなり、虐待や非行、その他様々な問題からの立ち直りや更生について社会の理解を深めていくことができる。

■活動風景



<第13回関係機関団体連絡協議会2017.10.22>

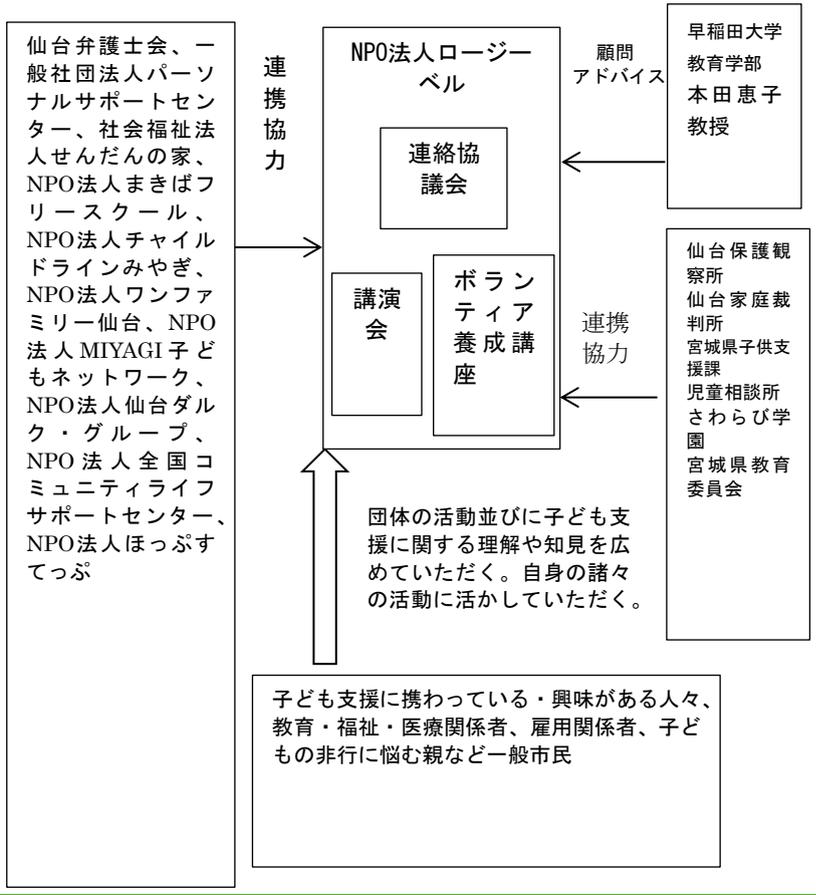
<vol.15ニュースレター発送作業>

<第14回関係機関団体連絡協議会2018.2.25>

■上期の成果と下半期に向けた改善点

<連絡協議会>
【上半期成果】
 今回は第13回、14回の関係機関団体連絡協議会を開催することができた。登録参加団体も少しずつ増えてきており、現在行政を含んで23団体の登録がある。毎回活発な意見交換が交わされ、話し合われる内容も充実したものとなっている。また、参加されている団体の皆様にとっても連絡協議会が大切な存在となっており、連絡協議会開催の当日、お互いの挨拶の次にでてくる言葉に「先日はありがとうございました」「この前は助かりました」など困った時や緊急時等での助け合いの状況が見られ、連絡協議会の必要性を改めて痛感できた。
 第14回に関しては、行政からの参加もあり有意義な意見が交わされた。行政との連携は必要不可欠と考えており、子どもたちや法人本体の活動の存続に役立つものとなっている。
【下半期改善点】
 第13回の連絡協議会から、登録団体に議事録を送付し、参加できなかった団体にも内容を把握していただくことにした。議事録送付については今後も続けていく予定である。また、第14回の連絡協議会時に平成30年度の開催予定日をお知らせし、連絡協議会への参加を呼びかけた。
<ニュースレター>
【上半期成果】
 「ロージーベルだよりvol.15」を600部作成し、法人オリジナルクリスマスカードとともに会員、支援者、関係機関・団体、講演会・講座参加者等に送付・配布した。
 今回は、自立援助ホームがスタートしたことや、東部児童相談所の所長様から「ロージーベルに期待すること」というメッセージを頂戴した。配布後は、会員や寄付者等から寄付金や物品寄付が数多く寄せられ、反響の大きさを実感した。
【下半期改善点】
 やはり今回もタイトな作業スケジュールとなってしまった。次回からは作業スケジュールを見直し余裕をもって作成したい。

■実施体制



〒 981-1235 (住所)宮城県名取市名取が丘三丁目7-10 (団体名)特定非営利活動法人ロージーベル (ホームページ): http://www.rosybell.jp	助成金額 795,000円
	助成期間
	H29.9.1~H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。